

自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会設置要綱

(目的)

第1条 平成25年6月27日付福岡県知事発通知「福岡都市計画道路アイランドシティ線に係る環境影響評価書について」の申し送り事項に従い、環境モニタリングや各種環境保全対策等を確実に実施するため、有識者委員会を設置し、事業予定者として指導・助言を受けて、環境に配慮したアイランドシティ線整備事業の推進を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 設置する有識者委員会の名称は「自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会」（以下「委員会」という。）とする。

(業務)

第3条 委員会は次の事項について指導、助言を行う。

- (1)環境モニタリング計画の策定に関すること。
- (2)環境モニタリング結果の評価に関すること。
- (3)上記の評価を踏まえた対策に関すること。

(組織)

第4条 委員会は学識経験者及び関係行政機関の職員で組織する。

(委員の任期)

第5条 委員会を構成する委員の任期は2年とし、補充された委員の任期は前任者の残任期間とする。

2. 委員は再任されることができる。

(会長)

第6条 委員会に会長及び副会長を置く。

2. 会長は委員の互選とし、副会長は会長が指名する。
3. 会長は、委員会を代表し、会務を統括する。
4. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2. 会長は、会議を招集するときは、あらかじめ開催日時、場所及び会議に付する事案を委員に通知するものとする。
3. 会長は、必要に応じ委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、福岡市道路下水道局計画部高速道路推進課で行う。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会に諮って会長が定める。

附則

この要綱は、平成26年1月15日から施行する。

自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会名簿

役職	氏名	所属	専門分野
委員	藤本 一壽	九州大学 名誉教授	騒音・振動
委員	小島 治幸	九州共立大学 名誉教授	海岸工学 (沿岸環境工学)
委員	田中 綾子	福岡大学大学院工学研究科 教授	衛生工学 (化学・廃棄物)
委員	柳 美代子	NPO 法人都市・建築遺産保存支援機構 理事	建築・景観
委員	江口 和洋	元九州大学大学院理学研究院 助教	鳥類
委員	福原 達人	福岡教育大学 教授	植物
行政 委員	久保 祥三	福岡市環境局環境監理部長	環境行政

橋梁工の一般的な施工工程

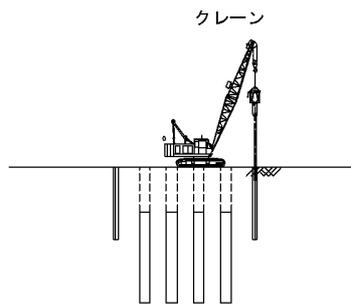
(※実際に使用する建設機械等とは異なることがあります)

<下部工>

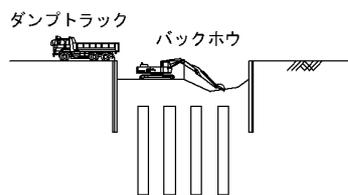
①基礎工(杭打ち)



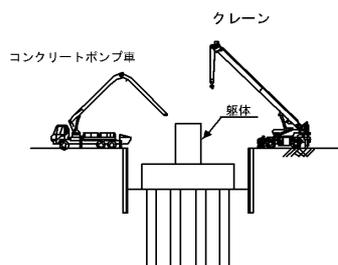
②仮設工(矢板設置)



③作業土工(掘削)

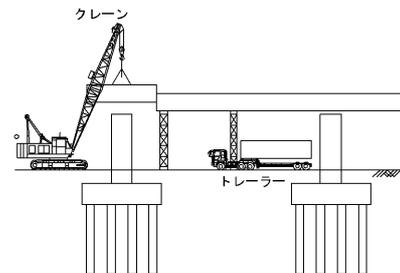


④鉄筋コンクリート躯体工(橋脚工)

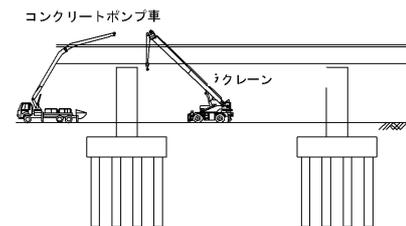


<上部工>

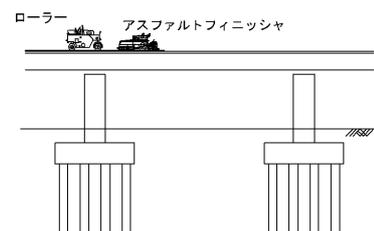
⑤架設工



⑥橋面工



⑦舗装工



環境配慮チェックシートについて

1 作成の目的

「環境配慮チェックシート」は、「自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング全体調査計画書」に基づき、工事中の環境保全措置等を確実に実施するため、事業者及び施工業者が相互に環境保全措置等の内容を認識し、実施状況を把握し、必要に応じて適切に改善措置を行うことを目的とする。

2 利用者

- ・事業者、施工業者

3 利用段階

- ・工事段階

4 利用方法

(1) 調査計画に基づく調査（年4回程度）

事業者は施工業者の立会のもと、現場や関係資料を確認しながら環境配慮チェックシートを用いて調査する。また、事業者は施工業者が実施している（3）のチェック結果を確認し、日頃の環境配慮の実施状況を把握する。

(2) 施工計画時のチェック

事業者は施工業者に環境配慮チェックシートを周知するとともに、施工業者がその内容を施工計画に反映していることを確認する。

(3) 日常のチェック

施工業者は、日頃から環境配慮チェックシートを用いて実施状況を把握する。

5 環境配慮チェックシートの作成方針

- ・現場でも利用しやすいように工夫する。
- ・改善措置の必要性が一目で分かる様式とする。
- ・チェックの結果を現場にフィードバックし、改善されたことが分かる様式とする。

6 環境配慮チェックシートの様式

(1) 調査計画に基づく調査（年4回程度）

- ・対象者 事業者
- ・使用する様式 環境配慮チェックシート（総括）・・・・・・様式1-1
環境配慮細目チェックシート（調査時）・・・・様式1-2

(2) 施工計画時のチェック

- ・対象者 事業者
- ・使用する様式 環境配慮細目チェックシート（計画時）・・・・様式2

(3) 日常のチェック

- ・対象者 施工業者
- ・使用する様式 環境配慮細目チェックシート（日常）・・・・様式3

7 環境配慮チェックシートの改善等

環境配慮チェックシートは、チェックを効果的に実施し、周辺地域の状況等に応じたよりよいものとするため、実施の中でフィードバックし適宜改善していくとともに、工事の場所や内容等に応じて確認内容や確認頻度等を適切に選定するものとする。また、様式については、必要に応じてより使いやすいように形式等をアレンジして用いるものとする。

<様式1-1>

確認欄				

環境配慮チェックシート(総括)

工事名				工事区分	
工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日				
調査日	平成 年 月 日				
事業者	所属		氏名		
	所属		氏名		
施工業者	所属		氏名		
	所属		氏名		

環境要素の区分	影響要因の区分	環境保全措置等の調査事項	No.	取組状況			要改善事項	改善期限日
				適	要改善	該当なし		
粉じん等	建設機械の稼働	施工ヤードへの散水	I-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		作業者に対する建設機械の取り扱いの指導	I-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	工事用車両の運行	工事用車両のタイヤ洗浄	I-2-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		工事用車両の集中を避ける運行計画	I-2-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		工事用車両の運行方法に対する指導	I-2-3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
騒音	建設機械の稼働	防音パネル等の遮音対策	II-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		低騒音型建設機械の採用	II-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		作業者に対する建設機械の取り扱いの指導	II-1-3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働	II-1-4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	工事用車両の運行	工事用車両の集中を避ける運行計画	II-2-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		工事用車両の運行方法に対する指導	II-2-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
振動	建設機械の稼働	低振動型建設機械の採用	III-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		作業者に対する建設機械の取り扱いの指導	III-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	工事用車両の運行	工事用車両の集中を避ける運行計画	III-2-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		工事用車両の運行方法に対する指導	III-2-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
水の濁り	海底の掘削	鋼管矢板による橋脚下部の囲い込み	IV-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		汚濁防止膜の展張	IV-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
建設工事に伴う副産物	切土工等又は既存の工作物の除去	アスファルト・コンクリート塊の再資源化施設への搬出	V-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		建設発生土の処理状況	V-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		建設汚泥の再資源化施設への搬出	V-1-3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
温室効果ガス		グリーン購入法に基づく特定調達品等の使用状況	VI-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		建設機械等の燃料使用量の削減のための取組状況	VI-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		



要改善事項の確認

要改善事項No.	改善確認日	事業者所属・氏名	施工業者所属・氏名
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		

<様式1-2>

環境配慮細目チェックシート (調査時)

確認欄				

工事名				
工事区分				
調査日	平成 年 月 日	事業者	所属	氏名
			所属	氏名
		施工業者	所属	氏名
			所属	氏名

区分	環境保全措置等の調査事項	No.	確認内容	主な確認方法	取組状況			備考 (具体的な内容や取組まない場合の理由等) <input type="checkbox"/> 写真撮影	改善期限日
					はい	いいえ	該当なし		
建設作業	施工ヤードへの散水	I-1-1-2	施工ヤードの防じん対策のため、強風時や乾燥時など必要に応じて適切に散水しているか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	作業者に対する建設機械の取り扱いの指導	I-1-2-2	建設機械の取り扱いについて、研修会の開催、注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作業者に対して適切に周知しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		II-1-3-2							
		III-1-2-2							
		VI-1-2-2							
	建設機械等の燃料使用量の削減のための取組状況	I-1-2-3 II-1-3-3 III-1-2-3 VI-1-2-3	建設機械の取り扱い（建設機械の整備点検、エンジンの空ぶかし、アイドルストップ等）は適切に行っているか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	防音パネル等の遮音対策	II-1-1-2	必要な箇所に防音パネルや防音シートを適切に設置しているか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	低騒音型建設機械の採用	II-1-2-2	低騒音型建設機械をできるだけ採用しているか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働	II-1-4-2	必要に応じて工事工程を調整し、できるだけ建設機械の配置を分散させ、特定の日や時間帯に建設機械の稼働が集中しないように配慮しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		II-1-4-3	建設機械が保全対象付近で集中稼働していないか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
低振動型建設機械の採用	III-1-1-2	低振動型建設機械をできるだけ採用しているか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
鋼管矢板による橋脚下部の囲い込み	IV-1-1-2	海底の掘削箇所は鋼管矢板を適切に設置しているか。囲い込みの不備により、周辺の海域に著しく濁りが漏れていないか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
汚濁防止膜の展張	IV-1-2-2	汚濁防止膜を適切に設置しているか。破損したり、めくれたりして、周辺の海域に著しく濁りが漏れていないか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
工用車両の運行	工用車両のタイヤ洗浄	I-2-1-2	工用車両のタイヤ洗浄を必要に応じて適切に実施しているか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		I-2-1-3	工用車両のタイヤの洗浄不備により、一般道路が土で汚れていないか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	工用車両の集中を避ける運行計画	I-2-2-2 II-2-1-2 III-2-1-2	必要に応じて工事工程を調整し、特定の日や時間帯に運行台数ができるだけ集中しないように配慮しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		I-2-2-3 II-2-1-3 III-2-1-3	工用車両が一般道路に集中していないか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		I-2-2-4 II-2-1-4 III-2-1-4	工用車両は計画ルート以外を走行していないか。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	工用車両の運行方法に対する指導	I-2-3-2 II-2-2-2 III-2-2-2 VI-1-2-4	工用車両の運行方法について、研修会の開催、注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作業者に対して適切に周知しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
I-2-3-3 II-2-2-3 III-2-2-3 VI-1-2-5		工用車両の運行方法（車両の整備点検、制限速度、発進・加速、アイドルストップ等）は適切か。	現場確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
廃棄物の処理等	757ファクト・コンクリート塊の再資源化施設への搬出	V-1-1-2	757ファクト・コンクリート塊は再資源化施設へ適切に排出しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	搬出先等	
	建設発生土の処理状況	V-1-2-2	建設発生土は計画どおり有効利用されているか。 <input type="checkbox"/> 現場内での再利用 <input type="checkbox"/> 工事間利用 <input type="checkbox"/> 採石場跡地（指定処分場）等への埋め立て利用 <input type="checkbox"/> その他【 】	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	建設汚泥の再資源化施設への搬出	V-1-3-2	建設汚泥は再資源化施設へ適切に排出しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	グリーン購入法に基づく特定調達品等の使用状況	VI-1-1-2	グリーン購入法に基づく特定調達品等をできるだけ使用しているか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他	苦情の有無		粉じん、騒音、振動等の苦情はないか。	関係資料確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		



要改善事項の確認

要改善事項 No.	改善内容	改善確認日	事業者所属・氏名	施工業者所属・氏名
		平成 年 月 日		
		平成 年 月 日		
		平成 年 月 日		
		平成 年 月 日		

<様式3>

環境配慮細目チェックシート
(日常)

確認欄				

工事名				
工事区分				
確認日	平成 年 月 日	確認者	所属	氏名

区分	環境保全措置等の調査事項	No.	確認内容	確認頻度の目安	取組状況			備考 (具体的な内容や取組まない場合の理由等) 写真撮影	改善期限日
					はい	いいえ	該当なし		
建設作業	施工ヤードへの散水	I-1-1-2	施工ヤードの防じん対策のため、強風時や乾燥時など必要に応じて適切に散水しているか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適宜	
	作業員に対する建設機械の取り扱いの指導	I-1-2-2 II-1-3-2	建設機械の取り扱いについて、研修会の開催、注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作業員に対して適切に周知しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適宜	
		III-1-2-2 VI-1-2-2							
	建設機械等の燃料使用量の削減のための取組状況	I-1-2-3 II-1-3-3 III-1-2-3 VI-1-2-3	建設機械の取り扱い（建設機械の整備点検、エンジンの空ぶかし、アイドリングストップ等）は適切に行っているか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	防音パネル等の遮音対策	II-1-1-2	必要な箇所に防音パネルや防音シートを適切に設置しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	低騒音型建設機械の採用	II-1-2-2	低騒音型建設機械をできるだけ採用しているか。	配置時	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働	II-1-4-2	必要に応じて工事工程を調整し、できるだけ建設機械の配置を分散させ、特定の日や時間帯に建設機械の稼働が集中しないように配慮しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		II-1-4-3	建設機械が保全対象付近で集中稼働していないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	低振動型建設機械の採用	III-1-1-2	低振動型建設機械をできるだけ採用しているか。	配置時	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	鋼管矢板による構脚下部の囲い込み	IV-1-1-2	海底の掘削箇所は鋼管矢板を適切に設置しているか。囲い込みの不備により、周辺の海域に著しく濁りが漏れていないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適宜	
汚濁防止膜の展張	IV-1-2-2	汚濁防止膜を適切に設置しているか。破損したり、めくれたりして、周辺の海域に著しく濁りが漏れていないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適宜		
工事用車両の運行	工事用車両のタイヤ洗浄	I-2-1-2	工事用車両のタイヤ洗浄を必要に応じて適切に実施しているか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適宜	
		I-2-1-3	工事用車両のタイヤの洗浄不備により、一般道路が土で汚れていないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	工事用車両の集中を避ける運行計画	I-2-2-2 II-2-1-2 III-2-1-2	必要に応じて工事工程を調整し、特定の日や時間帯に運行台数ができるだけ集中しないように配慮しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		I-2-2-3 II-2-1-3 III-2-1-3	工事用車両が一般道路に集中していないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		I-2-2-4 II-2-1-4 III-2-1-4	工事用車両は計画ルート以外を走行していないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	工事用車両の運行方法に対する指導	I-2-3-2 II-2-2-2 III-2-2-2 VI-1-2-4	工事用車両の運行方法について、研修会の開催、注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作業員に対して適切に周知しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適宜	
建設機械等の燃料使用量の削減のための取組状況	I-2-3-3 II-2-2-3 III-2-2-3 VI-1-2-5	工事用車両の運行方法（車両の整備点検、制限速度、発進・加速、アイドリングストップ等）は適切か。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
廃棄物の処理等	7577ト・コンクリート塊の再資源化施設への搬出	V-1-1-2	7577ト・コンクリート塊は再資源化施設へ適切に排出しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	搬出先等	
	建設発生土の処理状況	V-1-2-2	建設発生土は計画どおり有効利用されているか。 <input type="checkbox"/> 現場内での再利用 <input type="checkbox"/> 工事間利用 <input type="checkbox"/> 採石場跡地（指定処分場）等への埋め立て利用 <input type="checkbox"/> その他〔 〕	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	建設汚泥の再資源化施設への搬出	V-1-3-2	建設汚泥は再資源化施設へ適切に排出しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	グリーン購入法に基づく特定調達品等の使用状況	VI-1-1-2	グリーン購入法に基づく特定調達品等をできるだけ使用しているか。	月1回	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他	苦情の有無		粉じん、騒音、振動等の苦情はないか。	毎日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		



要改善事項の確認

要改善事項 No.	改善内容	改善確認日	確認者所属・氏名
		平成 年 月 日	
		平成 年 月 日	

追加重要種に係る環境影響評価について

第1章 重要種の選定状況の確認

平成28年9月に、「福岡市環境配慮指針（改定版）」が改定され、平成29年3月に、「環境省版海洋生物レッドリスト」、「環境省レッドリスト2017」が公表された。

当事業の環境影響評価書（平成25年6月、福岡市）における重要な動物・植物の選定は、当時の最新知見である「福岡市環境配慮指針（改訂版）」（平成19年2月、福岡市環境局）、「第4次レッドリストの公表について」（平成24年8月28日 環境省）及び「第4次レッドリストの公表について（汽水・淡水魚類）」（平成25年2月1日 環境省）を用いて行っている。

事業により影響を受ける新たな重要種の有無を確認するため、最新知見を用いた重要種の再選定及び新規重要種の生態・確認箇所の整理・とりまとめを行った。

表1 重要な動植物種の選定基準（評価書 P8-9-13、P8.10-8）

略称	選定基準	記号	選定基準となる区分
保護法	「文化財保護法」（昭和25年5月30日法律第214号）	国特別	国指定特別天然記念物
	福岡県文化財保護条例（昭和30年 条例第25号）	国指定	国指定天然記念物
	福岡市文化財保護条例（昭和48年 条例第33号）	県指定	福岡県指定天然記念物
保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日法律第75号）	国内	国内希少野生動植物種
		国際	国際希少野生動植物種
		緊急	緊急指定種
環境省 RL	「第4次レッドリストの公表について」（平成24年8月28日 環境省）：旧選定基準 「第4次レッドリストの公表について（汽水・淡水魚類）」（平成25年2月1日 環境省）：旧選定基準 「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」（平成29年3月17日 環境省） 「環境省レッドリスト2017の公表について」（平成29年3月31日 環境省）	CR	絶滅危惧ⅠA類
		EN	絶滅危惧ⅠB類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類
		NT	準絶滅危惧
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群
水産庁 RDB	「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」（水産庁 平成12年）	絶滅	絶滅危惧
		危急	危急
		希少	希少
		減少	減少
		減少傾向	減少傾向
		普通	普通
		地域	地域個体群
福岡県 RDB	「福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2001－」（平成13年3月 福岡県）：旧選定基準 「福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2011－」（平成23年11月 福岡県） 「福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2014－」（平成26年8月 福岡県）：平成26年度に対応済	EX	絶滅
		CR	絶滅危惧ⅠA類
		EN	絶滅危惧ⅠB類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類
		NT	準絶滅危惧
福岡市指針	「福岡市環境配慮指針 改訂版」（平成19年2月 福岡市環境局）：旧選定基準 「福岡市環境配慮指針（改定版）」（平成28年9月 福岡市環境局）	掲載種	福岡市内の貴重・希少生物等のリスト

○ 重要な種

新たな重要種として、ツバクロエイ、タケノコメバル、ヒメケフサイソガニの3種を抽出した。

表2 現地調査により確認された重要な動物

No	項目	分類			選定基準								
		目名	科名	種名	保存法	環境省第4次RL	環境省RL 2017	福岡県RDB 2001	福岡県RDB 2014 (2011)	水産庁RDB	福岡市指針 H19	福岡市指針 H28	
1	鳥類	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ				VU	NT*				掲載種新
2		コウノトリ	トキ	クロツラヘラサギ		EN	EN	CR	EN*	絶滅危惧種			掲載種新
3		カモ	カモ	ホオジロガモ					VU*				掲載種新
4		タカ	タカ	ミサゴ		NT	NT	NT					掲載種新
5				ハイタカ		NT	NT	NT					掲載種新
6			ハヤブサ	ハヤブサ	国内	VU	VU	VU	VU*				掲載種新
7		チドリ	ミヤコドリ	ミヤコドリ					VU*		掲載種		掲載種
8			シギ	ハマシギ		NT	NT		NT*				掲載種新
9				ホウロクシギ		VU	VU	VU	VU*				掲載種新
10			カモメ	コアジサシ	国際	VU	VU	VU	VU*	減少傾向			掲載種新
11		スズメ	ウグイス	オオヨシキリ				NT	NT*				掲載種新
12			ヒタキ	コサメビタキ					DD*				掲載種新
13	昆虫類	トンボ	サナエトンボ	タイワンウチワヤンマ							掲載種		↓
14		コウチュウ	ガムシ	コガムシ		DD	DD		VU新				掲載種新
15	魚類	エイ	ツバクロエイ	ツバクロエイ			DD新						
16		スズキ	ハゼ	チワラスボ		EN	EN		VU新				掲載種新
17		カサゴ	フサカサゴ	タケノコメバル			NT新						
18		カサゴ	フサカサゴ	アサヒアナハゼ					NT新				掲載種新
19	底生動物	原始腹足	ユキノカサガイ	ツボミガイ		NT	NT		NT新				掲載種新
20		中腹足	ワカウラツボ	カワグチツボ		NT	NT						
21			ミズゴマツボ	エドガワミズゴマツボ		NT	NT						
22			ウミニナ	ウミニナ		NT	NT		NT新	減少傾向			掲載種新
23		新腹足	アッキガイ	アカニシ						減少種			
24		原始有肺	オカミミガイ	ウスコミミガイ		NT	NT	VU	NT↓				掲載種新
25		マルスダレガイ	チドリマスオ	クチバガイ		NT	NT						
26			ニッコウガイ	テリザクラガイ		VU	VU		VU新				掲載種新
27				ユウシオガイ		NT	NT		NT新				掲載種新
28			フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ		NT	NT						掲載種新
29		サンバゴカイ	ゴカイ	ウチワゴカイ			NT新		DD新				掲載種新
30		真正クモ	ウシオグモ	ヤマトウシオグモ		DD	DD						
31		エビ	カクレガニ	メナシピンノ			NT新	NT	NT				掲載種新
32			オサガニ	オサガニ			NT新	NT	NT				掲載種新
33			スナガニ	ハクセンシオマネキ		VU	VU	NT	VU↑				掲載種新
34		エビ	モクズガニ	ヒメケフサイソガニ			NT新						
35				モクズガニ						減少傾向			
			19目	30科		2種	20種	26種	12種	22種	5種	2種	25種

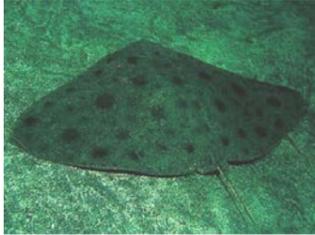
※：鳥類は「福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック 2011-」（平成23年、福岡県）を選定基準とした。
赤字新・↑・↓：現地調査確認種のうち、今回、新たに選定された種及びカテゴリーが変更になったもの。
青字新・↑・↓：現地調査確認種のうち、「福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック 2014-」（平成26年8月 福岡県）改定時に、新たに選定された種及びカテゴリーが変更になったもの。
種名赤字化+：現地調査確認種のうち、今回新たに重要な動物の対象となった種。
種名青字化+：現地調査確認種のうち、「福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック 2014-」（平成26年8月 福岡県）改定時に、新たに重要な動物の対象となった種（平成28年度有識者委員会で影響評価結果を説明済）。

表3 現地調査により確認された重要な植物

No	項目	分類		選定基準					
		科名	種名	保存法	環境省第4次RL	環境省RL 2017	福岡県RDB 2014 (2011)	福岡市指針 H19	福岡市指針 H28
1	陸域植物	マツバラ	マツバラ		NT	NT	EN	掲載種	掲載種
2		タデ	コギシギシ		VU	VU	VU	掲載種	掲載種
3		アカザ	イソホウキギ				VU	掲載種	掲載種
4		イソマツ	ハマサジ		NT	NT	VU	掲載種	掲載種
5		キク	フクド		NT	NT	VU	掲載種	掲載種
6			ヒガンバナ	ハマオモト				EN	掲載種
7	海藻草類	アマモ	アマモ				NT		掲載種新
		7科7種		0種	4種	4種	7種	6種	7種

新・↑・↓：現地調査確認種のうち、今回、新たに選定された種及びカテゴリーが変更になったもの

表 4(1) 重要な動物の確認状況等（ツバクロエイ）

項目	内容	 <p>ツバクロエイ</p>
選定基準	環境省版海洋生物レッドリスト2017（DD：情報不足）	
形態	エイ目 ツバクロエイ科 体は横に伸びた菱形。体盤幅は体盤長の約2倍。 体の幅：180cm	
分布	本州中部以南、四国、九州沿岸の砂泥底域に生息する。	
生態	採餌 本種の餌は、魚類や多毛類、貝類等である。 繁殖 卵胎生。	
確認状況	現地調査の結果では、図1に示すとおり、浅海域（御島海域）と浅海域で確認された。 以上のことから、本種は浅海域全体を生息場としていると推定される。	

[出典] 千石正一・疋田努・松井正文・仲谷一宏編（1996）『日本動物大百科 第5巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類』日高敏隆監修，株式会社 平凡社。
益田一・小林安雅（1994）『日本産魚類生態大図鑑』東海大学出版会。

表 4(2) 重要な動物の確認状況等（タケノコメバル）

項目	内容	 <p>タケノコメバル</p>
選定基準	環境省版海洋生物レッドリスト2017（NT：準絶滅危惧）	
形態	カサゴ目 フサカサゴ科 吻部は完全に鱗に覆われる。 体長：20~35cm。	
分布	北海道以南の寒・温帯域、沿岸の岩礁域の浅所にすむ。	
生態	採餌 本種の餌は、甲殻類、魚類、多毛類等である。 繁殖 卵胎生で、11月～翌1月に仔魚を産む。	
確認状況	現地調査の結果では、図1に示すとおり、100m水路及び浅海域の傾斜護岸で確認された。 以上のことから、本種は御島海域や100m水路、浅海域の傾斜護岸、御島の岩礁等を生息場としていると推定される。	

[出典] 益田一・小林安雅（1994）『日本産魚類生態大図鑑』東海大学出版会。
荒賀忠一・望月賢二・中坊徹次・小西和人・今井浩次（1995）『新さかな大図鑑』小西英人編，株式会社週刊釣りサンデー。

表 4(3) 重要な動物の確認状況等（ヒメケフサイソガニ）

項目	内容	 <p>ヒメケフサイソガニ</p>
選定基準	環境省版海洋生物レッドリスト2017（NT：準絶滅危惧）	
形態	エビ目 モクズガニ科 甲は角が丸いが四角形で後縁が狭く、色は暗褐色。 甲長：5mm程度、甲幅：4mm程度	
分布	本州中部から九州。内湾や干潟のカキ殻の中で確認されている。	
生態	採餌 調査中 繁殖 調査中	
確認状況	現地調査の結果では、図1に示すとおり、御島海域の傾斜護岸で確認された。 以上のことから、本種は御島海域や100m水路の傾斜護岸、御島の岩礁等を生息場としていると推定される。	

[出典] 三浦知之（2008）『干潟の生きもの図鑑』株式会社 南方新社。
青木新吾・乾隆帝・川原二郎他（2009）『北九州の干潟 BOOK』，福岡県立北九州高等学校 魚部。
[画像提供] 北九州市立水環境館 川原二郎氏

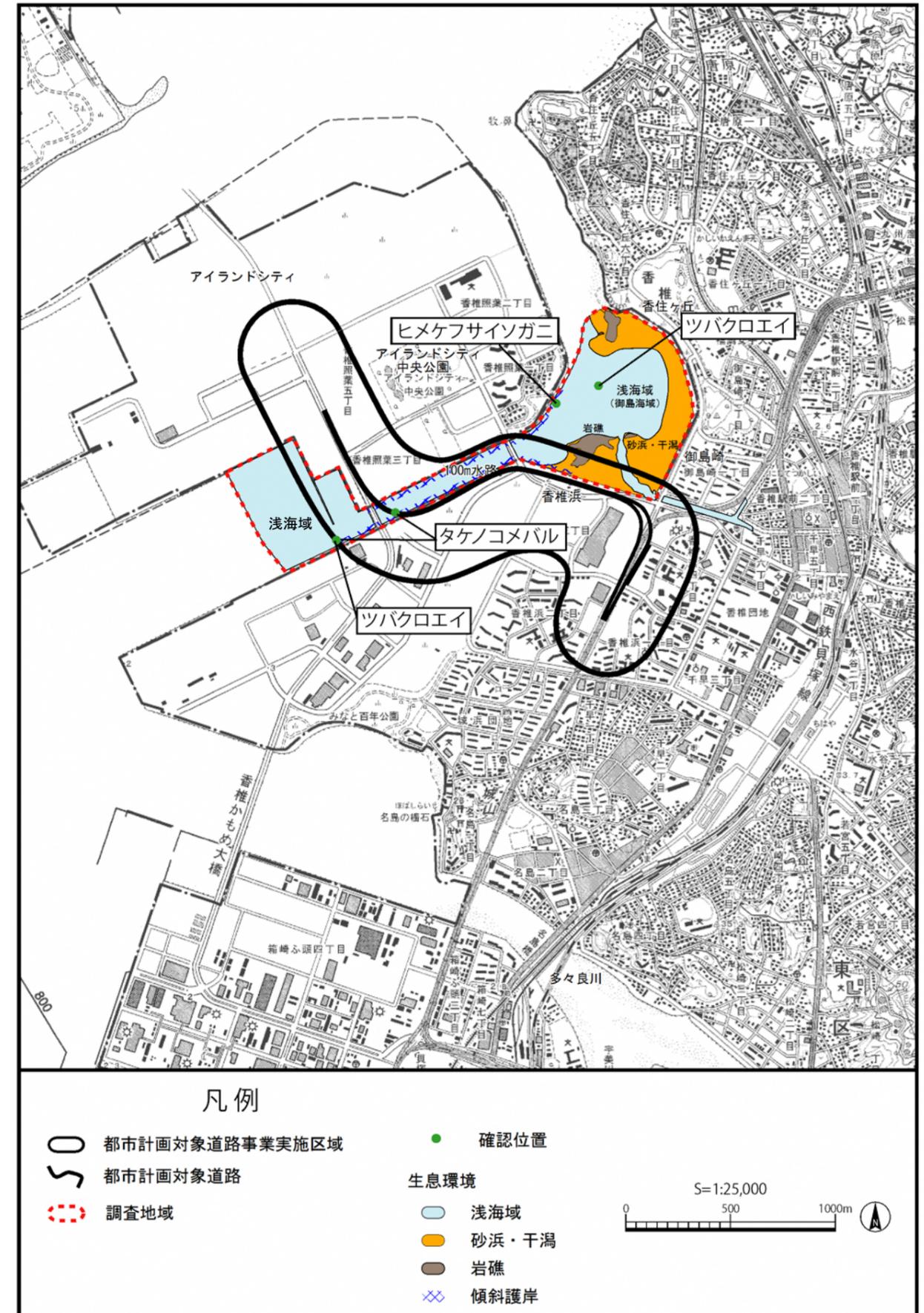


図 1 現地調査によるツバクロエイ、タケノコメバル、ヒメケフサイソガニの確認状況

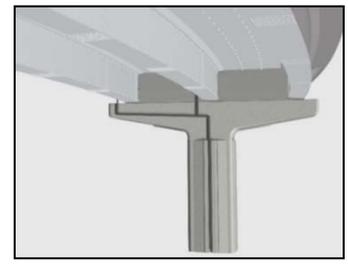
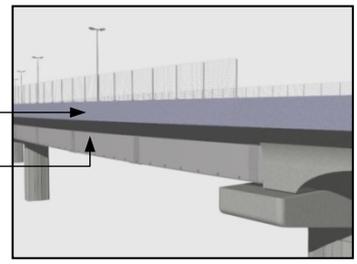
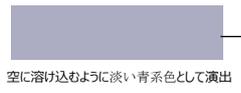
自動車専用道路アイランドシティ線（福岡高速6号線） 景観検討について

■ 景観検討箇所 周辺からの眺望や公園・道路利用者の視点に配慮



① 全線の色彩

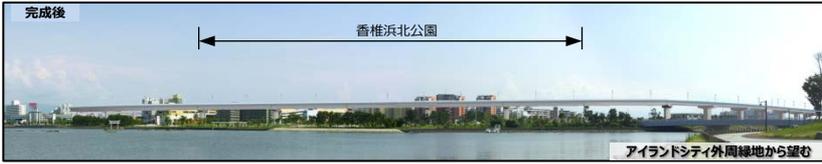
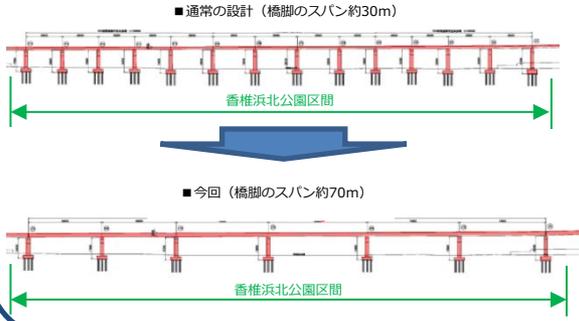
自動車専用道路アイランドシティ線周辺は、視界に空と海が多く占めることから、空と海に調和する色相とする。



コンクリートより明るい色とし、桁裏のすっきり感や清潔感の演出

② 香椎浜北公園区間の構造物の形式

通常のスパンよりも広くすることで、構造物を少なくし、圧迫感を抑える。



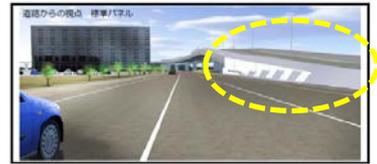
③ 御島かたらい橋付近

桁下の暗くなりがちな空間を明るくし、アイランドシティへの入口部分として、桁側面にサインを設置し、歩行者等からの視点に配慮する。



④ アイランドシティ線のランプ部

ランプ側壁部は無機質なコンクリート仕上げではなく、こども病院からの眺望に配慮し、デザインを施した塗装とする。



デザイン (案)

